



# 報 大 報 お 大 だ 大

12月1日号 (No.311)

◆ 編集と発行 — 大館市役所  
(電話)49-3111  
◆ 発行年月日 — 昭和56年12月1日  
◆ 発行日 — 毎月1・16日

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかつたり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。



## 地元産品が大集合 ～第2回産業祭～

▲盛況だった生鮮食品の即売(市場まつり)

第二回大館市産業祭は、先月四日から八日までの五日間、中央公民館を中心に開かれ、あいにくの悪天候にもかかわらず、多くの市民が会場を訪れ盛況のうちに幕を閉じました。市と商工会議所、それに農協の主催による産業祭は、当地産品の振興とともに、市民に地元産品のすばらしさを見直してもらおうと、昨年からの各産業を一堂に会して始められたもので、今年はおよそ五千三百点、七十社の出品がありました。メーン会場の中央公民館では商工部門と農産部門の展示や即売会が、また桂城公園では菊花展や植木市などが、そして今年あらたに参加した保健センターでは市民の健康管理のための健康相談や講演が行われ、順ぐりに各会場を訪れる人も多数見受けられました。昨年も好評だった「市場まつり」は最終日の八日に即売市場で開かれ、生鮮食品の特売や、豪華な景品がもらえる各種ゲームがあるとあって、朝早くから家族連れでにぎわい威勢のいっかげの中、会場は熱気に包まれていました。



▲地元産品を一堂に展示(中央公民館)

## 広 報 大 報 歳 時 記

12月

陰曆異名・師 走(しわす)  
花 曆・すいせん(うめぼれ)  
誕生石・ターコイズ(成功・繁栄)  
寒 波

冬將軍出陣の季節となりました。ところで、この「將軍」とはどんな將軍かご存じでしょうか。これは、1812



年ナポレオン1世がモスクワに遠征した時、ロシアの寒さと雪にはばまれて敗退を余儀なくされたという話からきたもので、連戦連勝を誇っていたナポレオンを拒んだのが冬將軍というわけです。その正体はシベリア寒気団と呼ばれて世界最大の高気圧です。ところで、冬になるとテレビやラジオで「寒波」という言葉をよく耳にします。日本海北部や北海道方面に低気圧が発達する時、大陸から冷たいシベリア寒気団が波のようにやってくる現象を寒波といっています。

日本で寒波という言葉が使われ始めたのはそう古いことではないらしく「寒波=かんなみ。寒いとき水面にたつ波など」となっている俳諧歳時記もあります。

(12月の主な行事)

- 1日・歳末たすけあい運動(～25日)
- 4日・第33回人権週間
- 13日・市民芸能の集い(秋北ホテル)

## 清掃課からの お願いとお知らせ



### ▲年末年始のゴミ収集

十一月三十一日から一月三日まで、ごみ収集作業は休ませていただきますのでこの期間中はごみを集荷地に出さないようにご協力をお願いします。一月四日以降については、平常どおりに収集を行います。

### ▲資源ごみ回収奨励金

資源回収で奨励金を受けようとする団体は、業者が発行した「資源ごみ回収取引伝票」をまとも「大館市資源ごみ回収奨励金交付申請書」に添えて十二月二十五日までに清掃課に提出してください。なお、奨励金は団体の代表者を通じて三月末までに交付いたします。

## 毎日が防火デーです、ぼくの家

年末を控えて、一年中で最も火災の多い季節を迎えました。当市では、今年11月25日までに34件の火災が発生しています。その92%が火気取扱いの不注意や不始末など、いわゆる失火によるものです。失火原因としては、トップがたばこの10件、次いで石油ストーブ類となっています。無火災で明るい街づくり、のため火の取扱いには市民一人一人が注意しましょう。

### ＜これが火災の主な原因＞

◆たばこ  
たばこは男子1日当たり平均24.6本。女子で15.7本喫煙すると言われています。人のいる所、いつでも火種があることとなります。ましてやくわえたばこですと火種が移動するといった危険性があるわけです。たばこをくわえてガソリンや灯油を取扱ったり、ストーブ類に給油するなど、火に対する注意心が欠けているのが火災発生につながっています。

◆石油ストーブ  
石油ストーブの場合は、ストーブの火を消さずに給油したり、取扱いが不慣れ、使用場所の不適が主な原因です。石油ふろがまについては、調整不良、空たき、取扱い不注意があげられます。

◆薪ストーブ  
今後、火災発生の原因に加わるものに「薪ストーブ」が予想されます。その原因となるものは、煙突の過熱、めがねの不備、台の不適当、使用場所の不適、周囲に可燃物の散乱があげられます。



### ＜冬期間の注意＞

特にこれから積雪期に入ると、死傷者の伴う大火災が多くなります。窓など開口部に冬囲いをするため密閉状態になり避難できずに死傷者がでるなどが、その主な原因です。老人や子どもは1階の避難しやすい場所に就寝させるなど、火災時の避難方法、火災予防について家族みんなでよく話し合っておくことが必要です。

広域消防署では、火災予防に関してのご相談に応じています。直接または電話をくだされば、署員が出向いて指導にあたります。

☎43-4151